



「すぐ」使える手話講座

手話は言語です。日常で簡単に使える手話を紹介します。今回は、夏にピッタリの手話です。みなさんも使ってみてください。

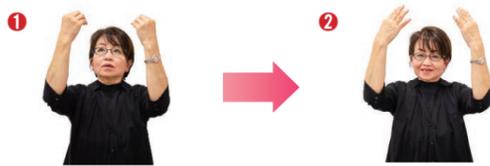
七夕

両手で数字の「7」を作り、上下に置きます。



星

両手を握り、指先同士をつけて高くあげます。両手をパッパッと、開いて閉じてを2回繰り返します。



次回の手話講座は、広報つるが9月号（8月13日発行）に掲載します。お楽しみに！

「市長と語る会」を開催します！

市民の皆さんのまちづくりに関する思いを、米澤市長と直接語り合ってみませんか？

敦賀市民の方であれば、どなたでも参加できます。申込み不要です。どうぞお気軽にご参加ください！



「市長と語る会」の流れ

- ①市長からまちづくりについての話
 - ②敦賀市のまちづくりに関する意見交換
- ※ご要望に関しては、これまでどおり区長さんを通じてお問い合わせします。

【7月開催】

開催日	地区	会場	時間
7/4(木)	南	南公民館	18:30～
7/11(木)	西	西公民館	
7/19(金)	愛発	愛発公民館	
7/23(火)	北	北公民館	

※各地区1回開催予定です。8月以降の日程は、順次掲載します。

問い合わせ先 広報広聴課 ☎22-8112



御田植祭、5年ぶりに復活

5月5日「沓見御田植祭」開催

平安時代から続くともされる県指定無形民俗文化財「沓見御田植祭」が沓見区内で5年ぶりに開催されました。この祭りは、沓見区の氏神である信濃貴彦神社（男宮）と久豆彌神社（女宮）が合同で行う春祭りです。正午、参加者たちの行列は沓見公会堂を出発し、ご神体の「御幣」を掲げて「ヤーホーハイヤー」という掛け声を大きな声で繰り返しながらそれぞれの神社に向かいました。神社の境内では、地元の子どもたちが、京都から伝わったとされる「王の舞」などの神事芸能を奉納しました。

防火意識、高め合う

5月4日 白銀神社「火祭り」開催

戦後から続く白銀神社の「火祭り」が敦賀駅周辺で開催されました。白銀地区では戦前から戦後にかけて多くの火災が発生し、これをきっかけに白銀神社が建立されました。この祭りは、住民の防火意識の向上と町の繁栄が続くことを願い、例大祭の前日である5月4日に毎年行われているものです。午後6時半ごろ、「火神輿」が白銀神社を出発し、参加者は「わっしょい」と声を上げながら町内を歩き、火を用心する意識を高めました。今年は5年ぶりに「たいまつ行列」が復活し、多くの参加者がたいまつを掲げて駅前を歩きました。

▼式典で関係者がくわ入れをする様子



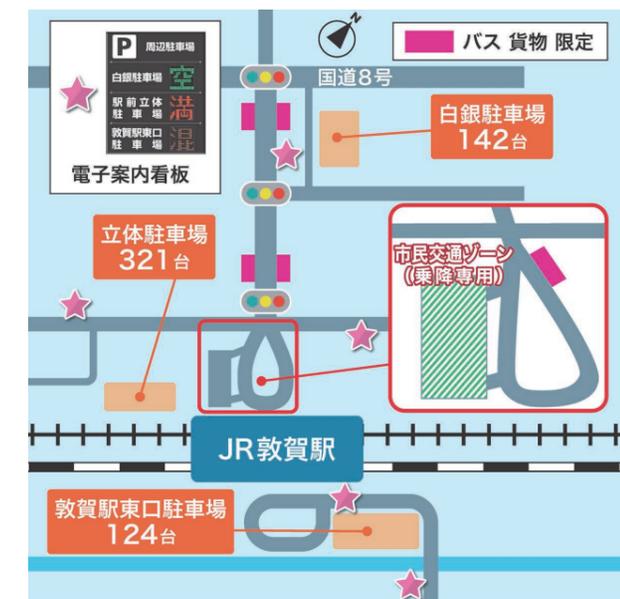
敦賀駅周辺についてのお知らせ

敦賀駅周辺の市営駐車場のご利用について

東口駐車場は、新幹線をはじめ関西・中京方面への特急（サンダーバード、しらさぎ）が乗り入れる東口に面しています。新幹線や特急への乗車や、みどりの窓口を利用する際は、東口駐車場（30分無料）をご利用ください。

また、駅西口側では、駅に隣接した立体駐車場（60分無料）や商店街の周遊に便利な白銀駐車場（60分無料）をご利用ください。

※各駐車場の空き状況は、道路に設置された電子案内看板でご確認ください。



駅前広場市民交通ゾーンのご利用について

市民交通ゾーンは駐車場ではなく、駅利用者の乗降専用で設けられたスペースです。限られたスペースの中で乗降目的の車を効率的にさばくため、以下のルールを守ってください。

- 駅舎内への送迎などで運転者が車から離れる場合は、市民交通ゾーンではなく、駐車場をご利用ください。
- 乗降は可能な限り迅速に行ってください。

問い合わせ先 交通政策課 ☎22-8242



新しい学生生活に向けて

5月14日 敦賀いきいき生涯大学入学式

敦賀いきいき生涯大学の入学式があいあいプラザで行われました。同大学は昭和53年5月に開校し、これまでに3,685人が卒業しています。今年は男性12人、女性20人が入学し、一般教養と選択した専門コースである「敦賀再発見コース」「元気づくりコース」「パソコンコース」で学習することを誓いました。入学生代表の石井雅之さんは、「学習を通じて自らの健康の保持に努めるとともに、自分の経験を活かして明るく豊かな地域社会づくりに貢献したい」と誓いの言葉を述べました。

岸壁延長で物流機能の強化に期待

5月12日 敦賀港（鞠山南地区）複合一貫輸送ターミナル整備事業着工式典

敦賀港鞠山南地区の鞠山南CFSで、鞠山南地区の岸壁とふ頭用地を造成する事業の着工式典が開かれました。これは、内航RORO船など、船舶の大型化に対応するとともに、敦賀港のふ頭再編を目的に、国と福井県が「複合一貫輸送ターミナル」の整備を同地区で進めています。内航RORO船舶は、現在苫小牧航路が鞠山北地区、博多航路が金ヶ崎地区から発着。貨物の積み替え時間や保管場所であるヤード不足がかねてから課題となっていますが、東側岸壁の220メートル延長とふ頭用地の4.8ヘクタール拡張が整備されることにより、それらの課題解決が期待されています。同整備事業は2027年度に完了予定です。